



第2日目(7/16) 現地1日目 午後はまわらす

田んぼの整備・草取り作業

東日本大震災・津波の影響で、子供たちが海で遊べなくなっている、といことで、子供が海で遊べるようにするための活動をしている「はまわらす」の活動に参加しました。こどもたちが作っている田んぼの整備作業ということで、無農薬の田んぼの草取りと周辺整備と畔整備のお手伝いをしました。



おいしくお弁当タイム



草取り作業



草取り作業



草取り作業



鎌で草刈り



草取り作業



草取り作業



どんどん草取り



畔づくり



草取りも完了



沢できれいに



給水タイム

生徒たちのふりかえり(2)

2年中本

津波メモリアルへ行って、実際に津波に流されたものを見たり、当時の映像を見た。犠牲者の軌跡と生存者の軌跡では、津波などの震災に対する教訓がそのまま書かれていたり、ビデオで出てきた「100回逃げて100回来なくても、101回目も逃げて」という言葉から当時の悲痛な思いが伝わってきた。つなみてんでんこには津波と共に生きてきた先人たちの知恵と努力によって出来ているものだったのだと感じた。田んぼで雑草ぬきをした時は、泥で汚れたりしたが、雑草がほとんど無くなった田んぼを見ると達成感が大きく、とても良い経験になりました。漁港へ行って、堤防などの津波の被害を抑えるための設備についてのお話を聞いた。防災の設備を整える際には街の方々の意見を反映させながら、街を再建する大切さを考えました

2年佐伯

阪神・淡路大震災と東日本大震災を比較して思ったのは、神戸は元々大都市で今も昔も人口が多いから、すっかり復興して賑やかになって、震災の傷跡は見る影もないが、東北は元々人口が少なかった上に震災で人口が少なくなったので、昔は住宅街だったところにも更地になってしまったりなど、まだまだ元通りの町にはなっていないということだった。「復興ってなんだろう」そんな疑問が頭に浮かんだが、きっと私たちが語り部の方にお話を聞く、これも復興なんだと思った。私たちも少しでも復興の力になれるのだ、と感じて少し嬉しくなった。

私は田んぼに入る予定だったけど虫が怖くて入れなくて申し訳ない思いでいっぱいだったのですが、すぐに他の仕事を持ってきてくれて、丁寧に教えてくれたNPOの皆さんに本当に感謝したいです。頑張ってる仕事をしていたら色々な人が声をかけてくれて、「がんばってるね！」と言って貰えることがすごく嬉しかったです。

2年小島

陸前高田市の伝承館で私が一番印象に残ったのは気仙沼大橋です。鉄の橋なのに水圧だけで橋が折れて曲がってしまっていたのが津波の大きさを物語っていて驚きました。教訓を学ぶゾーンでは、避難できた人たちの教訓もためになりましたが、惜しくも亡くなってしまった方たちの教訓がためになるなと思いました。